

AGB65-uDisp によるロジスコの簡単マニュアル

1. 電源投入時の画面と操作ボタン

電源投入時には、メイン画面を表示します。
最初は、表示サンプル用のテストデータを表示しています。

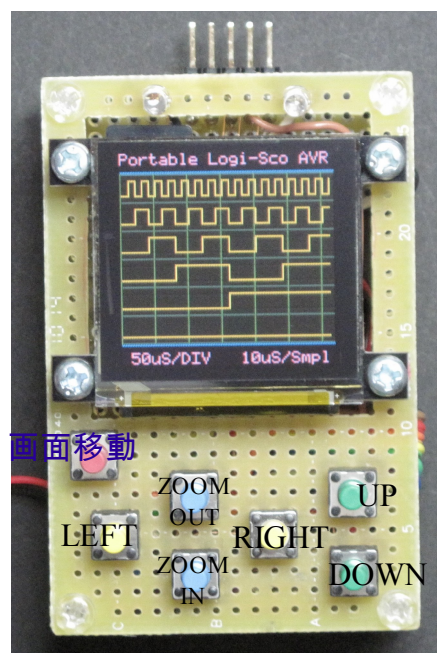
操作ボタンは主目的ごとに色分けしています。

赤ボタン：画面遷移用

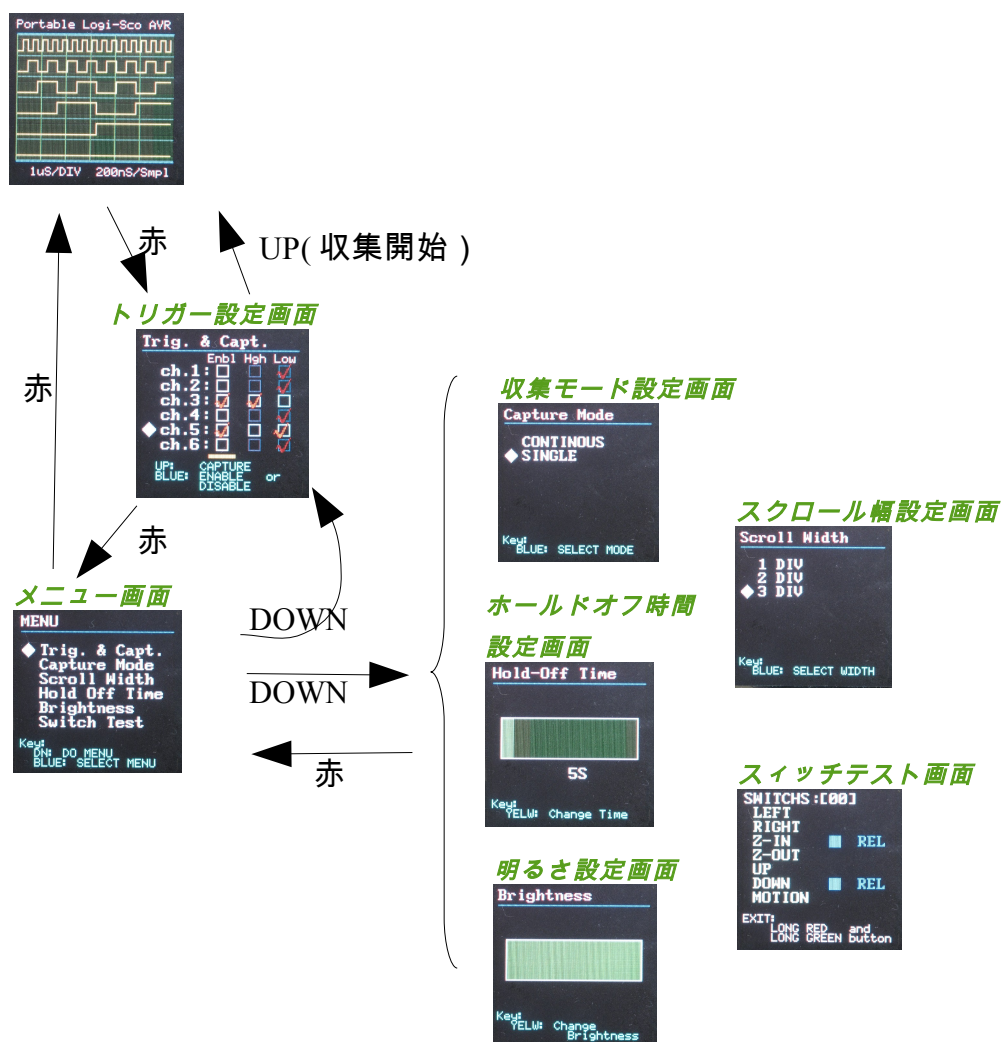
青ボタン：ズーム、メニュー選択用

黄ボタン：スクロール、項目選択用

緑ボタン：タイムベース変更、その他



2. 操作ボタンによる画面遷移



3 . メイン画面

メイン画面は、計測した波形を表示します。

(1) 画面の自動更新

収集モードが連続(CONTINUOUS)のとき、画面表示後にホールドオフ時間経過すると次のデータ収集を行い、画面を自動で更新します。

収集モードが単発(SINGLE)のとき、データを収集して画面を表示したら、収集操作を行うまで画面はそのままです。

(2) 時間軸の変更

1DIV あたりの時間幅はサンプリング周期と 1DIV あたりの表示データ数で決まります。青ボタンで、1DIV あたりの表示データ数、すなわち時間軸を変更することができます。

ZOOMIN ボタン：時間軸を遅くします。

例：2 μ S→5 μ S→10 μ S

ZOOMOUT ボタン：時間軸を短くします。

例：10 μ S→5 μ S→2 μ S

(3) 表示位置の変更

収集データは 3.5K ステップ分ありますが、時間軸の設定によってはその一部だけが表示されています。

その表示位置をスクロール動作によって変更します。

LEFT/RIGHT ボタンで、スクロールします。

スクロール幅は、スクロール幅設定画面で変更できますが、1DIV/2DIV/3DIV からの選択となっています。

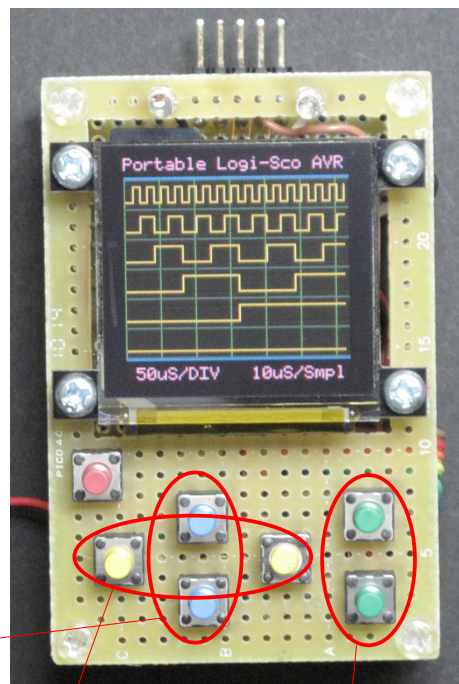
初期値は 3DIV です。

(表示位置を示すデータが何も表示されていないので、ちょっと使いにくいです。)

(4) サンプリング周期の変更とデータ収集

緑ボタンでサンプリング周期を変更します。このとき、画面データとの整合性がとれなくなるので、データ収集を開始します。

すでにトリガー条件が設定されている場合は、それが使用されます。



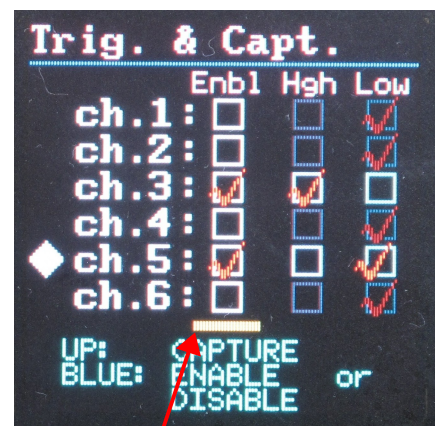
4. トリガー設定画面

各入力ごとに、トリガー条件を設定できます。
たとえば、右画面のように設定されている場合、

Ch3 が 1 (ON) かつ

Ch5 が 0 (OFF)

となった時に、データ収集を開始します。
条件が一致するまでは待機状態となります。



操作対象カーソル

青ボタンと黄ボタンで操作対象を選択します。
操作対象項目は、右図の黄色の下線で示すようになっています。
(注：各チャンネルごとの項目下部には移動しません。)

(1) チャンネルの選択

左側の菱形がチャンネル番号の横にくるように、黄ボタンを操作します。
その状態で青ボタンを操作して、カーソルを上下させます。

(2) トリガー検定 有効 / 無効選択

当該チャンネルのトリガー検定を有効 / 無効を選択する時は、カーソル位置を Enbl (シアン色の四角形) 下部に移動します。

この状態で青ボタンを操作します。

ZOOMOUT ボタン (上側青ボタン) : 有効にします。

ZOOMIN ボタン (下側青ボタン) : 無効にします。

当該チャンネルのトリガー検定が有効になると、検定値の表示が明るく目立つ色に変わります。

(3) 検定値の設定

当該チャンネルの検定値を 0 / 1 に設定するには、黄ボタンでカーソルを移動してから、青ボタンで値を変更します。

データ収集を行う時は、UP ボタン(上側緑ボタン)を押下します。

5 . メニュー画面

メニュー画面は、各種設定機能を選択するための画面です。

機能を選択するには、青ボタンで画面左側の菱形を上下に移動します。

選択した機能を実行するには、DOWN ボタン(下側緑ボタン)を押下します。



6 . その他の画面

省略。